

人権ほつと三年十二月号

「もう一つのオリンピック、
スペシャルオリンピックス」

大阪教育大学 特任講師

今枝 史雄

2021年夏は昨年延期されたオリンピック、パラリンピックが東京で開催されました。みなさんはオリンピック、パラリンピックの他に、スペシャルオリンピックスをご存じでしょうか？知的障がいのある方の自立と社会参加を目指し、日常的なスポーツプログラムと、成果の発表の場としての競技会を行う国際的スポーツ組織の事です。夏季大会と冬季大会が行われており、1968年に第1回夏季大会がアメリカ・シカゴで行われ、参加国は3ヶ国でしたが、2019年の第15回夏季大会（アラブ首長国連邦・アブダビ）では、参加国は190ヶ国・地域となりました。日本は1991年の第8回夏季大会（アメリカ・ミネソタ）でメダルをとったことを皮切りに、1994年にスペシャルオリンピックス日本が立ち上がり、現在に至る

まで、国内大会（ナショナルゲーム）の開催や、国際大会への参加を行っています。競技数は、夏季大会は24競技（バドミントン、バスケットボールなど）であり、冬季大会は9競技（アルペンスキー、フロアホッケーなど）です。競技大会以外にも日常的にスポーツプログラムが組まれており、平日夕方や休日などに各地域で実施されています。「オリンピックス」と複数形になっている理由は、知的障がいのあるアスリートだけでなく、コーチ、家族（ファミリー）の関わりも含めて、競技に組んでいくということを表しています。また、大きな特徴として、競技に取組んだアスリートは全員、その頑張りを称え、表彰するというものがあります。私も学生時代、スペシャルオリンピックスにボランティアとして関わったことがありますが、アスリートの競技に取組む直向きな姿勢に多くのことを学びました。ご興味のある方は、スペシャルオリンピックス大阪のウェブサイトをみてくださいます。